

事業番号	264
------	-----

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	市営住宅管理事業(一般事業)						担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	建築課				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	営繕係			
	総合計画分野別計画	主目的	3 保健福祉		15 地域福祉		2 地域で支え合いながら暮らせるまちを築く					
		副目的										
	予算区分	款	8	項	5	目	1	大	2	中	1	
	根拠法令・個別計画	公営住宅法・小牧市市営住宅条例										
	実施・運営方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="checkbox"/>	一部又は全部委託		
		<input type="checkbox"/>	指定管理・外郭団体			名称:						
		<input type="checkbox"/>	NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市営住宅や共同施設を適切に維持管理し、住宅に困窮する低額所得者に住宅を供給することにより居住の安定を図る。											
内容 (手段)	<p>下記、市営住宅の適正管理のため、各種保守点検や修繕を行う。 鷹之橋住宅 24戸(1棟) 大輪住宅 68戸(3棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のエレベーター保守点検、年1回の受水槽清掃、その他に消防設備や幼児遊園遊具の点検を業者に委託した。 ・職員は週に1度、各棟の管理人宅を訪問し、水道水の残留塩素濃度測定を行うとともに、修繕が必要な箇所について聞き取りをし、漏水の恐れのある住宅の台所の給水管を取替える等の修繕を行うとともに、入居者の退居後の修繕を行った。 <p>※修繕等に係る経費については、毎月の家賃から充当</p>											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費	千円	8,639	8,531	8,261	
	正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.60
		人件費	千円	5,365	5,365	8,584
	その他職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50
		人件費	千円	683	648	648
	費用合計	千円	14,687	14,544	17,493	
	対前年比	%		99.0		
財源	一般財源	千円	6,048	6,013	9,232	
	国・県支出金	千円	0	0	0	
	その他財源	千円	8,639	8,531	8,261	

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		績	修繕件数		件	目標	—
実績	16					14	
エレベーター保守点検回数			回	目標	12	12	12
				実績	12	12	
受水槽清掃回数			回	目標	1	1	1
				実績	1	1	
成果指標名	単位		H21	H22	H23		
成果指標	入居率	%	目標	100	100	100	
			実績	99	100		
			目標				
			実績				

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	エレベーター保守、受水槽清掃や修繕等を適宜実施することにより、市営住宅の適性な管理ができ、常に100%近くの入居率が確保できている。				
	事業を廃止・休止したときの影響	市営住宅の管理は、施設全体的な保守点検や修繕にとどまらず、各住戸の日常的な修繕や苦情対応等もあり、また年1回の家賃算定や家賃徴収業務、入退居事務や入居募集業務と多岐に渡るため、この事業を廃止をすると入居者の生活に影響を与えるとされる。				
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	今後も施設を適切に維持管理し、入居者の居住の安定を図る必要があるため現状維持と判定した。				
	今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	築20年を超える住宅があり、今後、受水槽や給水ポンプ、給湯器やエレベーター等と設備機器等の更新を計画的にしていく必要がある。				

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	一次評価のとおり				